


【様式2】

食育月間以外の月の取組  
(6月を除いた4月～12月までの実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	大阪府
取組市町村名	
取組の名称	おおさか食育マガジン
実施時期	通年(月1回)
取組内容	<p>大阪府では、府民が食に関する正しい情報を取得し、健全な食生活を実践することができるよう、食育情報サイト「おおさか食育通信」を平成16年4月に開設しました。</p> <p>「おおさか食育通信」では、月1回「おおさか食育マガジン」を発行しています。</p> <p><b>【食育マガジン掲載内容】</b>          (1) イベントニュース・お知らせ          大阪府や関係機関等が行う食育イベント情報や「おおさか食育通信」各ページの更新内容等</p>  <p>〈おおさか食育通信トップページ〉</p> <p>(2) 豆知識          平成29年4月～12月テーマ          4月:大阪産(もん)の野菜で春を感じよう!          5月:大阪版健康・栄養調査結果概要について          6月:自分は太りすぎている、という「ボディイメージのずれ」!          ～大阪版健康・栄養調査結果から～          7月:ダイエット志向、なのに甘い飲み物で糖類量はWHOの基準越え!          ～大阪版健康・栄養調査結果から～          8月:外食・中食の利用頻度が多いほど、1日の野菜摂取量が少ない!          ～大阪版健康・栄養調査結果から～          9月:共食回数が多い男性は、野菜をたくさん食べている!          ～大阪版健康・栄養調査結果から～          10月:早食いほど肥満!          ～大阪版健康・栄養調査結果から～          11月:①ごちそうさま。よろしおあがり。感謝の気持ちを大切に、減らそう「食品ロス」          ②「旬の野菜たっぷりメニュー」しゅんぎくとなめこおろし和え          12月:出前魚講習会～おいしいねんで! 魚庭(なにわ)の魚</p> <p>各月の「おおさか食育マガジン」の概要は、メールマガジンで配信し、タイムリーな情報発信に努めています。</p>

【様式2】

食育月間以外の月の取組  
(6月を除いた4月～12月までの実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	大阪府
取組市町村名	
取組の名称	食品安全委員会 in 大阪府 学校教育関係者等を対象とした意見交換会
実施時期	平成29年8月7日13時45分～16時15分
取組内容	<p>テーマ： 食品安全を守るしくみと食品添加物の安全性について</p> <p>対象者： 府内小学校の家庭科教諭、栄養教諭、保育所や認定こども園の栄養士等 (児童生徒やその保護者への波及効果を期待して、対象者に選定)</p> <p>参加者： 28名</p> <p>内容：</p> <p>①食品安全委員会からの話題提供 「食品安全を守るしくみと食品添加物の安全性について」</p> <p>②大阪府からの話題提供 「大阪府における食の安全安心の確保に関する取組について ～食品添加物の適正使用等について～」</p> <p>③グループワーク・グループ発表 「食の安全について不安に思うこと」、「不安を解消するために必要なこと」など について、グループ討議を行い、話し合いの結果を発表してもらいました。</p> <p>④意見交換会 グループ発表の内容を受けて、話題提供者と参加者で意見交換を行いました。</p> <p>主催： 大阪府、内閣府食品安全委員会</p>

## 【様式2】

# 食育月間以外の月の取組 (6月を除いた4月～12月までの実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	大阪府
取組市町村名	箕面市
取組の名称	2017 みのおアイデアメニューコンテスト
実施時期	平成29年7月～12月
取組内容	<p>本市では、子ども達が食への興味関心を高め、地産地消への理解を深める契機となるよう、「みのおアイデアメニューコンテスト」を実施しています。</p> <p>今年度のテーマは、 「炊きたてごはんといっしょに箕面でとれた秋の野菜を食べよう！」でした。</p> <p>応募対象は、市内在住または、在学の小学校5年生～中学生で、1人でも2～3人のチームでも応募することができます。</p> <p>条件は、1食あたり、100g以上の野菜を使い、なおかつ箕面産の野菜を3種類以上使ってごはんにあうバランスの取れたおかずを考えることです。</p> <p>料理を考える過程で、子ども達は、自分の住んでいる地域のどこでどんな野菜がとれて、どんな方が作っているのかを学ぶことができます。</p> <p>料理を考えるだけでなく、調理して制限時間内に作り上げる審査もあるため、子どもには、かなり高いハードルです。しかし、子ども自らが、興味を持って取り組み、考案した料理を自力で完成させることは、知識や技術を高めるだけでなく、大きな自信につながっています。</p> <p>今年度の応募総数は、66点(91人)、小学生62点(84人)・中学生4点(7人)でした。</p> <p>審査には、大阪青山大学教授を審査員長とし、保護者や、農業者、学校栄養士、食育ボランティア、市内飲食店など、様々な立場の方が審査員としてかかわっていただいていたいて、このコンテストの大きな特徴となっています。</p> <p>一次審査(書類審査)と二次審査(調理審査とプレゼンテーション)で選考を行い、最優秀賞、優秀賞、特別賞、奨励賞を決定しました。</p> <p>入賞者は、市の農業祭(参加総数4,000人程度)の会場で大勢の市民が見守る中、市長から表彰されます。</p> <p>最優秀賞には、賞品として箕面産野菜と米が贈られ、その作品は市内のカフェでメニュー化されます。</p> <p>子ども対象のコンテストが市民全体への食育啓発の機会となるよう取り組んでいます。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>今年の最優秀賞 「カラフルコロッケと不思議な野菜」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>表彰式の様子</p> </div> </div>